

行政資料 pickup!



バックナンバーはこちらから
医療関係者向け情報サイト
「武田テバDI-net」定期情報誌
<https://www.med.takeda-teva.com/di-net/opdbox/info/index.html>

2023年度薬価改定について

2023年度は薬価中間年改定が行われ、薬価調査結果により価格乖離の大きな品目とその対象となります。今回は、2023年度薬価改定の概要と不採算品再算定についてご紹介いたします。

薬価調査結果

項目	2017	2018 (中間年)	2019	2020 (中間年)	2021	2022 (中間年)
平均乖離率	9.1%	7.2%	8.0%	8.0%	7.6%	7.0%
回収率 () 内は調査 客対数	79.2% (6,291客体)	85.0% (6,153客体)	87.1% (6,474客体)	86.8% (4,259客体)	86.1% (6,476客体)	87.6% (4,451客体)

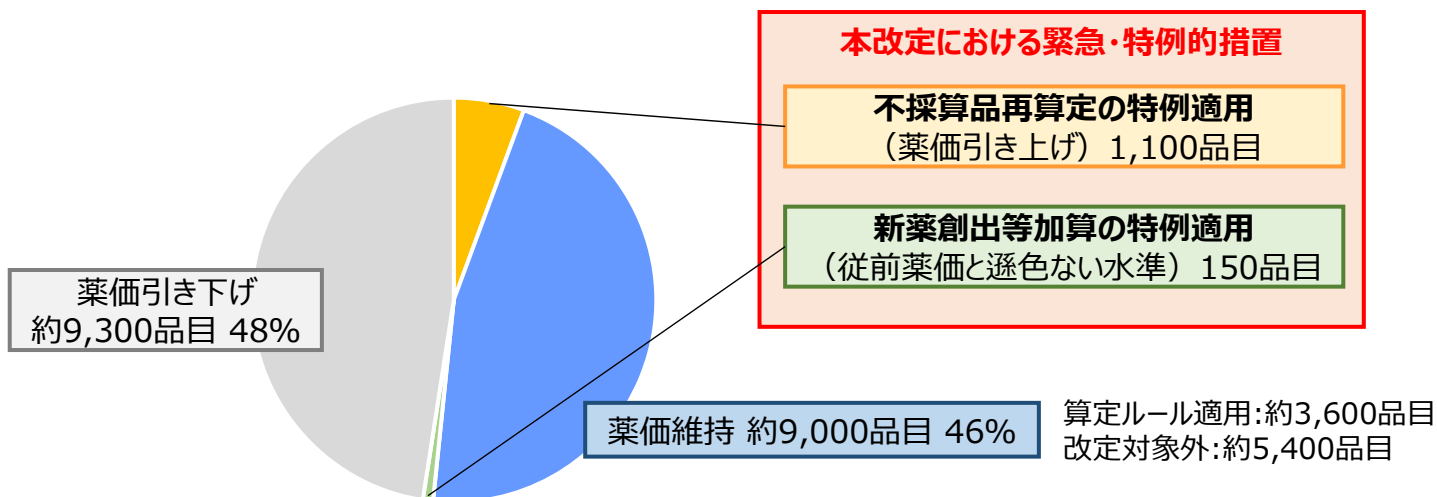
2022年薬価調査の平均乖離率は7.0%でした。2023年度薬価改定では、国民負担軽減の観点から、平均乖離率7.0%の0.625倍(乖離率4.375%)を超える品目が対象となります。今回の改定により、薬剤費は▲3,100億円(国費▲722億円)の削減を見込んでいます。

	全体	新薬※1 (2,400品目)	うち新創 加算対象 (600品目)	長期収載品 (1,700品目)	後発品 (10,500品目)	その他品目※2 (4,700品目)
改定対象 品目数※3	13,400品目 (69%)	1,500品目 (63%)	240品目 (41%)	1,560品目 (89%)	8,650品目 (82%)	1,710品目 (36%)
改定による 影響額	▲3,100億円	▲780億円	▲10億円	▲1,240億円	▲1,210億円	+130億円

※1 新薬は、後発品のない先発品であり、長期間収載されている先発品を含んでいる。

※2 その他品目は、昭和42年以前に収載された医薬品。

※3 このほか、不採算品再算定の対象となる品目(1,100品目)のうち改定対象品目でないものが約570品目ある。



2023年度改定では急激な原材料費の高騰、安定供給問題に対応するため、不採算品再算定について臨時・特例的に全品を対象に適用するとともに、イノベーションに配慮する観点から、新薬創出等加算の加算額を臨時・特例的に増額し、従前の薬価と遜色ない水準とする対応が行われます。

低薬価品の特例：不採算品再算定

算定ルール

保険医療上の必要性が高いものであると認められる医薬品であって、薬価が著しく低額であるため製造販売業者が製造販売を継続することが困難であるもの(成分規格が同一の類似薬の全てが該当する場合に限る)等については、原価計算方式によって算定される額(類似薬のものも含めた最低の額を上限)に改定する。

※その際、営業利益率は100分の5を上限とする

【参考：原価計算方式】

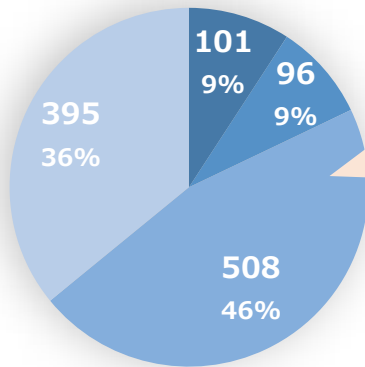
薬価算定単位あたりの製造(輸入)原価+販売費+一般管理費+営業利益+流通経費+消費税=薬価

不採算品再算定の特例的な適用

- 急激な原材料費の高騰、安定供給問題に対応するため、**急激な原材料費の高騰により不採算となっている全品目(不採算状況調査の1,100品目)について、不採算品再算定を実施して薬価の引き上げを行う。**
- 不採算品再算定の算定ルールにおいては、「成分規格が同一の類似薬の全てが該当する場合に限る」旨の制限を設けているが、安定供給確保のため個別に対応する必要があることから、今回の改定に限って特例的に当該制限を課さないこととする。
- その際、安定供給を製薬企業に求めるとともに、そのフォローアップを実施する。

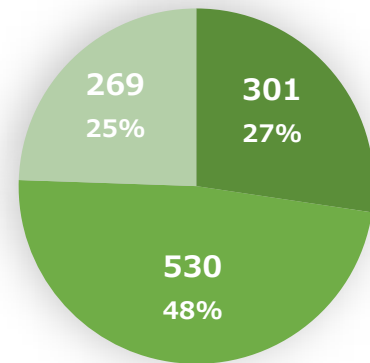
製薬企業に対して行われた、物価高騰や為替変動の影響等により、不採算となっている医薬品の状況についての調査結果によると、1,100品目(115社)が物価高騰等の影響を受け、不採算となっていると回答がありました。(全体:約2万品目、薬価収載医薬品を供給する業者:331社、回答期間:2022年9月8日~9月30日、さらに11月18日までに追加で報告があった品目も含む)

物価高騰や為替変動の影響等を受けている
医薬品の内訳(後発品等の別)
合計:1,100品目



「後発品」と「その他の品目」
(昭和42年以前の品目)で
全体の約8割

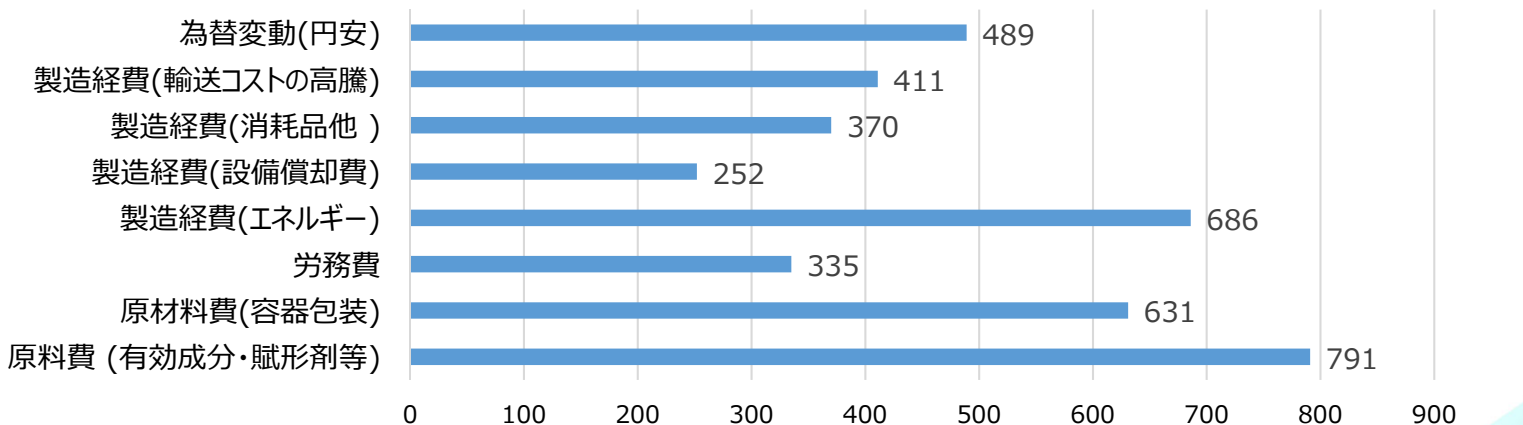
物価高騰や為替変動の影響等を受けている
医薬品の内訳(剤形別)
合計:1,100品目



■ 新薬 ■ 長期収載品 ■ 後発品 ■ その他

■ 内用薬 ■ 注射剤 ■ 外用薬

品目ごとの不採算の原因(複数回答可)



令和5年度薬価改定の骨子 参考資料(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001027748.pdf>

原価計算方式について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingij/2r9852000001qeji-att/2r9852000001qeo8.pdf> を加工して作成

本資料は、2023年2月20日時点の情報に基づき、編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。

本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

発行: 武田テバファーマ株式会社 エクスターナルリレーションズ